

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

<b>学校名</b>	みやき町立三根東小学校
------------	-------------

<b>1 前年度 評価結果の概要</b>	令和4年度の学校評価結果については、主に以下のような(成果☆)や(課題★)があった。 ☆どの項目についても、達成することができていた。各担当者の企画・立案について、全校が一丸となって取り組む事ができた成果と言える。 ★全国学力学習状況調査や県学習状況調査の結果から、本校の児童には、長文を読み取る能力や自分の考えをまとめたり、表現したりする能力に課題があることが分かった。 ★「いじめ防止等についての組織的な対応」については、いじめに係る事案を担任だけが抱え込まず、教頭に限らず教務主任、生徒指導主任等にも相談できるよう組織体制の輪を広げる。
--------------------------	--

<b>2 学校教育目標</b>	キャッチフレーズ 「夢にチャレンジ東っ子」 学校教育目標 「元気いっぱい 笑顔あふれる」児童の育成 ～ 自分大すき、友だち大すき、学校大すきな子供 ～
-----------------	---

<b>3 本年度の重点目標</b>	1 心の安心を育む学校風土の確立と児童の自己肯定感の向上(自分づくり) 2 豊かな体験活動の充実と地域を生かした教育活動の推進(仲間づくり) 3 主体的・対話的で深い学びの推進と確かな学力向上(学びづくり)
-------------------	---

**4 重点取組内容・成果指標**

(1) 共通評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践 ・学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	・問題を大事な言葉に気を付けて読み取り、自分の考えを適切に表現できたと思う児童の割合が70%以上 ・児童の読解力や表現力を高めるために、授業の工夫に努めたと思う教職員の割合が80%以上 ・授業が分かりやすいと回答した児童が80%以上。	・視点や条件を与えながら自分の考えを表現する活動を取り入れるような授業改善を行う。 ・ICT機器(電子黒板等)を利活用する。
	○児童の豊かな読書力を推進する。	・進んで読書をしたと思う児童の割合が85%以上 ・読書の目標冊数を達成した児童90%以上	・図書館祭りなどのイベントを行い、図書館の魅力を発信する。 ・図書委員会による校内放送での呼びかけをする。 ・調べ学習などで、図書の本を活用してもらうように呼びかける。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	・学校生活アンケートで、豊かな心を育む項目において、肯定的な回答をした児童の割合が80%以上。保護者80%以上。	・「人権集会」や「命を考える日」の取り組みを通して、命の大切さを実感させる。 ・道徳科の授業づくり等に関する校内研修や、「ふれあい道徳」を実施する。 ・異学年交流体験、保護者や地域人材を活用した授業を実施する。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した教職員の割合が70%以上。	・いじめの認知・覚知に対するマニュアルの作成・見直しを行う。 ・月1回生徒指導連絡協議会を行い、児童理解といじめの早期発見に努める。 ・なかよしアンケートを年間6回行う。
	◎児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	・「先生は自分のよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童75%以上 ・「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童70%以上	・年間の学校行事や学級活動の中で「出番・役割・承認」運動を全職員で推進する。 ・学期ごとに学習面・生活面の目標をもたせて取り組ませる。 ・「夢」や「なりたい自分」に関する取組を実施し、それに向けて努力することの大切さを理解させる。
	○児童の自己肯定感の向上	・学校生活アンケートで自分のよいところがあると思う子どもの割合が70%以上 ・「心のタイム」等で、「光るところ見つけ」カードを年間5枚以上書く。	・年6回の「なかよしアンケート」に自己肯定感に関わる項目を入れて実施する。 ・年7回の「こころタイム」による光るところ見つけ活動や教職員(生活面)保護者(学校行事)による承認活動に取り組む。
●健康・体づくり	次の中から1つ以上を選択 ●「望ましい生活習慣の形成」	・早寝、早起き、朝ご飯の取組ができていると回答した児童の割合が80%以上。 ・SNSなどの情報モラルを守れていると回答した児童の割合が80%以上。保護者80%以上。 ・むし歯保有率を佐賀県平均の19.35%以下にする。	・早寝、早起き、朝ごはんの啓発を年2回実施する。 ・7月に食生活アンケート実施し、実態を把握する。 ・11月に早寝、早起き、朝ごはんの実践シートの活用とアンケートを全校児童に実施し、進捗状況を把握する。 ・SNSの使い方など、情報モラルについての指導の学期毎に1回以上行う。 ・むし歯保有者の治療勧告書を個人面談時に配布し、保護者の受診への意識付けを行う。 ・歯科衛生士によるブラッシング指導(歯っぱ教室)や歯の講話を実施する。 ・むし歯保有者に対しブラッシング指導を実施する。
	○「運動習慣の改善」	・目標を決めて、「スポーツチャレンジ」に1回以上取り組む。 ・遊べる日に、外で元気に遊んだとアンケートに答えた児童が80%以上。	・縦割り班で八の字跳びにチャレンジする期間を決めて取り組ませる。 ・学級で目標を決めて、「スポーツチャレンジ」に1回以上参加する。 ・月1回以上、学年で外遊びを決め、実施する。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	・教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限(1月45時間)を守れた教職員を90%以上にする。 ・計画的効率的に職務遂行できたと回答した教職員の割合を75%以上にする。	・昨年度実施した職員会議のペーパーレス化等の効率的な職務遂行、全職員による協働的な教育活動のみならず、時間外勤務時間の削減に繋がる業務改善に取り組む。
	○教職員の心身の健康を支える職場環境づくり	・気持ちよく業務遂行できたと回答した教職員80%以上。	・相談しやすい職員室の雰囲気づくり ・自分の意見を言いやすい風通しのよい職場づくり ・職員が休みを取りやすい体制の工夫
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○地域とともにある学校づくり	○保護者、地域、関係機関との連携の推進(幼保小連携含む)	・教育活動の充実のため、保護者、地域、関係機関と効果的に連携できたと回答した教職員70%以上。 ・学校は教育活動の様子を分かりやすく伝えていると回答した保護者80%以上。	・学校だよりの発行や学校ホームページの更新を定期的に行い、教育活動の様子を随時伝える。 ・地域人材リストや地域連携カリキュラムの作成・更新と効果的な活用

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

<b>5 総合評価・ 次年度への展望</b>	・ ・ ・
----------------------------	-------------